

東日本大震災 災害対策本部被害・設置状況に係る調査票

調査日：平成 23 年 4 月 20 日

自治体名	名取市	震 度	6 強
人口（震災前）	72,150 人	世帯数（震災前）	25,807 世帯
死 者 数	863 人	行方不明者数	1,000 人
避難所数	12 箇所	避難者数	1,410 人

庁舎並びに被害状況写真の位置図



被害状況の写真 1



閑上地区（沿岸から数 km は津波の被害甚大）

被害状況の写真 2



閑上地区（沿岸から数 km は津波の被害甚大）

被害状況の写真 3



関上地区（所々に残った建物）

被害状況の写真 4



関上地区（河口付近の水門を臨む）

庁舎の写真 1



庁舎玄関前

庁舎の写真 2



庁舎 1 階の様子

庁舎の写真 3



庁舎前の被害

庁舎の写真 4



庁舎外の仮設トイレ

庁舎の状況

- 庁舎は、昭和 50 年 10 月築。庁舎玄関入り口の亀裂や庁舎内の天井の滑落などあり。
- 津波第 1 波は、地震発生後 1 時間の 15 時 50 分頃到達。市庁舎は浸水を免れた。
- 地震直後停電したが、自家発電機を作動させ対処。その後、東北電力の電源車も入り、停電に対応。
- 上下水道の被害が生じ、1 ヶ月経過した現在も、庁舎や避難所に仮設トイレを設置中。

本部室の写真 1



本部室入口

本部室の写真 2



室内の被害状況地図

本部室の写真 3



本部室の会議スペース

本部室の写真 4



本部室の執務の様子

本部室の状況

- 本部室は、市庁舎の3階の会議室に設置。防災主管課の防災安全課は5階で執務。
- 本部室には、市本部事務局員が常駐するほか、他市からの応援職員、宮城県、国土交通省、自衛隊等の派遣職員が詰めていた。
- 本部室には、本部会議用スペースを常設。入り口側に本部事務局スペースがあり、数名のスタッフが詰めている。被害集計表をホワイトボードに書き込み、避難所開設・収容状況を貼りだすほか、津波浸水箇所図、搜索箇所図などの資料を掲示。

その他、特筆すべき事項

- 市職員や消防職団員も被災したことから、県内の角田市から常時2名の応援を得たほか、神戸市など県外の市町村からの応援も得ている。
- 消防本部については、広島・富山・長野県から応援が入っている。
- 地震直後市避難者が庁舎にいたが、避難所が開設され停電が解消されると、すぐに移動した模様。
- マスクも当初は出入りがあったが、現在は、出入りは少ない。
- 本部室による「地震津波災害情報」「災害対策本部のお知らせ」などの資料のほか、広報課による広報誌「広報なとり臨時号」も1月に2回のペースで発行。

(注1) 調査票の各項目に関する出典は、以下のとおり。

人口(震災前): 全国市町村要覧 平成22年版

世帯数（震災前）：全国市町村要覧 平成 22 年版

死者数：消防庁被害報第 100 報（平成 23 年 4 月 11 日 11 時時点）

行方不明者数：消防庁被害報第 100 報（平成 23 年 4 月 11 日 11 時時点）

避難所数：宮城県 東日本大震災における被害等状況資料（平成 23 年 4 月 11 日 19 時時点）

避難者数：宮城県 東日本大震災における被害等状況資料（平成 23 年 4 月 11 日 19 時時点）

位置図：背景地図は「電子国土」（国土地理院）より抜粋

（注 2）「震度」については、気象庁平成 23 年 3 月 30 日報道発表資料（「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震」により各地で観測された震度について）による（一部の震度観測点については精査継続中となっている）。